

# 資料収集及び展示資料・保存活用事業の進捗について

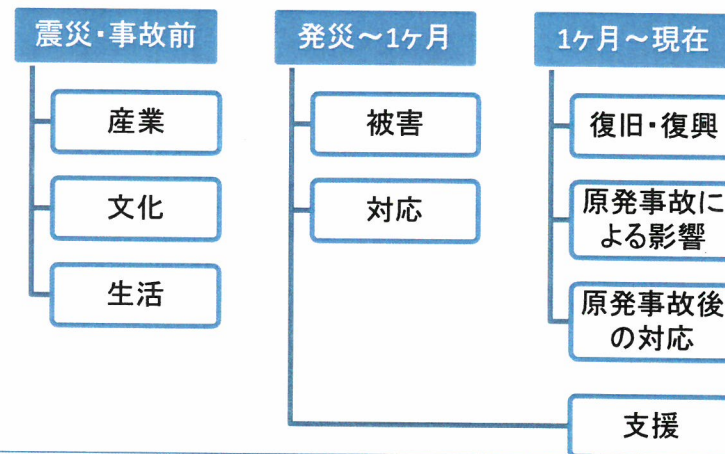
## 概要

平成29年度に「資料収集ガイドライン」を策定し、震災関連資料の収集に取り組んでいる。また、これまで収集してきた資料について、開館後に研究等で資料が有効に活用できるよう、アーカイブ拠点施設収蔵庫での配置や保存方法の検討・計画に着手している。合わせて、開館後の資料収集方針の策定に向けて、資料のデータベース化や体系化を行っている。

## 事業内容

- 1 資料整理・保存
  - 収集した資料にメタデータを付加してデータベースに入力する
  - 保存するために必要な処置内容を検討し、処置する
- 2 収蔵計画策定
  - 震災関連の県外施設を視察し、保管の状況を研究する
  - 体系化した収集資料をもとに収蔵計画を策定する
- 3 資料体系化
  - 体系化の考え方をもとに資料内容を検討・分類する
  - 体系ごとの資料数・資料の質・内容等から次年度以降の収集方針案を策定する

## 体系化図



## 収集資料数

令和元年6月10日現在 約20万5000点